

教 育 委 員 会 だ よ り

令和5年度 上ノ国町20歳を祝う会を挙

令和5年度20歳を祝う会が8月15日(火)、ジョイ・じょぐらにおいて挙行され、主催者を代表し矢代教育長から「いつの時代も若者の柔軟な発想と行動力、熱い情熱による挑戦が未来を作り出してきた。多様でグローバルなものの方、考え方を培い、世界の発展・平和に貢献できる頼もしい人材として、大きく成長して欲しい」と式辞を述べられたほか、工藤昇町長と京谷作右衛門町議会議長より祝辞が贈られました。

祝酒献杯では、20歳を迎えられた29名が近況や将来の抱負を述べ、杯を受けていました。

20歳を迎えられた代表として、杉田稜岳さんと佐藤怜奈さんが「これから先、進む道はそれぞれがいまですが、上ノ国町出身者としての誇りを胸にしっかりと生きたいと思つてます」と力強く誓いのことを述べられました。

終了後には4年ぶりに祝賀交流会が催され、久しぶりに再会した恩師や旧友と語り合うなど、話に花が咲いていました。



緊張した面持ちで誓う代表の二人



厳かに献杯を受けます



旧友と大切な時を祝います



神様へ感謝の気持ちを伝えます

第30回コシヤマイン慰霊祭の開催について

7月1日(土)、勝山館跡周辺において、第30回コシヤマイン慰霊祭(主催は、同実行委員会)が開催されました。この慰霊祭は、1457年のコシヤマインの戦いで失われた多くの命(アイヌだけではなく和人も含めて)を弔い、平和で公平な社会実現への祈りを込めて行うものです。

今年は、30回目という節目の年であることから地元や実行委員会の他、函館アイヌ協会、(公財)北海道アイヌ協会から理事長の犬川勝氏、様似民族文化保存会など、多くの来訪者が参加しました。

慰霊祭では、アイヌ式の慰霊方法で、「カムイノミ」(神々への祈り)と「イチチャルパ」(先祖供養)が行われました。儀式の終了後には、参加者全員で「鶴の舞」という踊りを様似民族文化保存会と参加者で輪になって踊りました。夜には、大留複合施設で交流会が開催され、道内外から約70名が参加しました。

交流会では、篠笛奏者の村上二郎氏や様似民族文化保存会、地元から上ノ国昔踊り保存会などが出演し、アイヌの踊りや歌に加え、本町の昔踊りを披露するなど、アイヌと和人が共に手を取り、交流する姿が見られました。



交流会では、歌に踊りと交友を深めました



皆で踊って、平和を願います